

科目名	アパレルデザインⅢ				
担当教員	松田 大	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	コンペ入選を目指し、アパレルデザインⅠ・Ⅱで習得したデザイン発想力と表現力を用いて描き込みを行う。				
学習目標 (到達目標)	コンペ入選を目指し、徹底的な描き込みと発想力を学習する。新人・名古屋で入選・地方コンペで上位入賞・海外コンペ挑戦。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	デザイン発想とコンペの傾向について		講義・最近のコンテストの入選傾向や素材の使用・加工などについて過去のコンテストグランプリ作品などについて解説		
2	デザイン下描き中間チェック		スケッチブックにデザイン下描き10体宿題中間チェック		
3	デザイン素材制作・デザイン出し①		デザインチェックを基に素材作り加工を行い各自デザイン画作成5枚		
4	デザイン素材制作・デザイン出し②		デザインチェックを基に素材作り加工を行い各自デザイン画作成5枚		
5	デザイン素材制作・デザイン出し③		デザインチェックを基に素材作り加工を行い各自デザイン画作成5枚		
6	ファッションショー用デザイン画作成①		夏のイベントファッションショー用デザイン出し		
7	ファッションショー用デザイン画作成②		夏のイベントファッションショー用デザイン出し		
8	雑貨デザインコンテストデザイン出し		雑貨のデザインコンテスト対策D画下描き		
9	ナゴヤコンテストデザイン出し①		ナゴヤコンテストに向けたD画描き		
10	ナゴヤコンテストデザイン出し②		ナゴヤコンテストに向けたD画描き		
11	ナゴヤコンテストデザイン出し③		ナゴヤコンテストに向けたD画描き		
12	ナゴヤコンテストデザイン出し④		ナゴヤコンテストに向けたD画描き		
13	新人デザイナーコンテストデザイン出し①		新人デザイナー入選に向けたD画描き		
14	新人デザイナーコンテストデザイン出し②		新人デザイナー入選に向けたD画描き		
15	新人デザイナーコンテストデザイン出し③		新人デザイナー入選に向けたD画描き		
16	新人デザイナーコンテストデザイン出し④		新人デザイナー入選に向けたD画描き		
17	海外コンテストデザイン画出し①中国・イタリアコンテスト		海外コンテストデザイン出し		
18	海外コンテストデザイン画出し②中国・イタリアコンテスト		海外コンテストデザイン出し		
19	海外コンテストデザイン画出し③中国・イタリアコンテスト		海外コンテストデザイン出し		
20	海外コンテストデザイン画出し④中国・イタリアコンテスト		海外コンテストデザイン出し		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
実務経験教員の経歴	教員歴21年				

科目名	アパレルデザインⅢ				
担当教員	松田 大	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	卒業制作に向けたデザイン出しと洋服の製作				
学習目標 (到達目標)	コンペ入選を目指し、徹底的な描き込みと発想力を学習する。新人・名古屋で入選・地方コンペで上位入賞・海外コンペ挑戦。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	卒業制作ファッションショーに向けたデザイン出し①		卒業制作に向けたデザイン画の制作を行う		
2	卒業制作ファッションショーに向けたデザイン出し②		卒業制作に向けたデザイン画の制作を行う		
3	卒業制作ファッションショーに向けたデザイン出し③		卒業制作に向けたデザイン画の制作を行う		
4	オリジナルブランドデザイン企画①		自分のブランドを企画しデザイン画を描く。ブランドコンセプトマップ作り		
5	オリジナルブランドデザイン企画②		ブランド企画書制作		
6	オリジナルブランドデザイン企画③		ブランド企画書制作		
7	オリジナルブランドデザイン企画④		ブランド企画書制作		
8	オリジナルブランドデザイン企画⑤		ブランド企画書制作		
9	ブランド企画書 プレゼンテーション審査		ブランド企画書を基にプレゼンテーション審査を行う		
10	海外コンテストD画制作		海外コンテストへ向けたデザイン画の作成		
11	海外コンテストD画制作		海外コンテストへ向けたデザイン画の作成		
12	海外コンテストD画制作		海外コンテストへ向けたデザイン画の作成		
13	卒業作品D画作成1		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
14	卒業作品D画作成2		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
15	卒業作品D画作成3		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
16	卒業作品D画作成4		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
17	卒業作品D画作成5		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
18	卒業作品D画作成6		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
19	卒業作品D画作成7		3年間のまとめ。D画自由課題の作成		
20	D画プレゼンテーション審査		3年間のまとめ。D画のプレゼンテーション審査		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
実務経験教員の経歴	教員歴21年				

科目名	アパレル実習Ⅲ				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.売り場に合わせた商品展開と企画 2.工場生産での適切な指示、原価計算 3.売り場へ商品が並ぶまでのプロセスの体験と本物の売り場へ自分たちの商品が並ぶ責任を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	売り場への商品展開を目的として、職出しの知識と原価から上代設定、下代の仕組みを学習し、売れる商品を企画するノウハウと、商品化までのプロセスを学ぶ				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	作図道具・縫製道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ハンガーイラスト・指示出し		企画アイテムの正確なハンガーイラストと仕様の決定		
2	ハンガーイラスト・指示出し		企画アイテムの正確なハンガーイラストと仕様の決定		
3	生地・商品リスト決定		生地チェックを受け、フルラインナップの一覧作成		
4	1stパターン作成		パターンチェック		
5	1stサンプルチェック		仮縫いチェック：半身・代替生地		
6	パターン修正		パターンチェック		
7	2nd仮縫い		裁断・芯貼り		
8	2nd仮縫い		組み立て①		
9	2nd仮縫い		組み立て②		
10	2ndサンプルチェック		仮縫い最終チェック		
11	パターン修正		パターン・仕様・生地修正		
12	2ndパターン作成		パターンチェック		
13	職だし		仕様書作成		
14	製品納品		検品・仕上げアイロン		
15	上代決定		上代会議、ディスカッションで上代決め		
16	プロモーション撮影①		撮影・ロケ・モデリング・スタイリング実習		
17	プロモーション撮影②		撮影写真セグメント・商品リスト作成		
18	販売ロールプレイング		接客ロールプレイング実践授業		
19	ディスプレイ決定		ディスプレイレイアウト会議		
20	実践販売		店頭にて実際に接客実践		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：パターン/仕様書 パターン正確性40%、仕様書正確性40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			二年間で学んだことを生かし、指定された売り場で売れるための商品企画を意識すること、実際に縫製工場へ職だしするため仕事してのルールや流れを習得すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル実習Ⅲ				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.パターン・トワル制作 2.作品一体の縫製				
学習目標 (到達目標)	3年間の集大成として各自作品1体を縫製し、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	作図道具・縫製道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1stパターン		平面作図①		
2	1stパターン		平面作図①		
3	1stパターン		平面作図②		
4	トワル制作		作図写し		
5	トワル制作		トワル組みたて		
6	トワルチェック		トワルチェック・生地チェック		
7	2ndパターン		パターン修正		
8	2ndパターン		縫代付け・カット		
9	縫製		裁断・芯貼り		
10	縫製		部分縫い①		
11	縫製		部分縫い②		
12	縫製		組みたて①		
13	縫製		組みたて②		
14	仕上げ・修正		仕上げ・アイロン		
15	作品完成		提出		
16	フィッティング		モデル試着・修正		
17	作品修正		サイズなど修正		
18	最終フィッティング		最終フィッティング		
19	リハーサル		着せ付け・ウォーキングリハーサル		
20	ファッションショー		ファッションショー形式で発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：パターン/仕様書 パターン正確性40%、仕様書正確性40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			課題は全て提出すること 最後の作品として独自性と責任感をもって制作することとする。		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル企画Ⅱ				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案とプレゼンテーション 2.ファッションショーでの作品発表				
学習目標 (到達目標)	ファッションショーでのコレクション発表				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe creative cloud				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入		コレクションワークとは		
2	ブランド企画		企画書作成作業		
3	ブランド企画		プレゼンテーション前チェック		
4	プレゼンテーション		プレゼンテーション審査		
5	1stパターンワーク		パターン・トワル作業		
6	1stパターンワーク		パターン・トワル作業		
7	トワル・パターンチェック		トワルチェック		
8	2ndパターンワーク		パターン修正作業		
9	2ndパターンチェック		パターンチェック		
10	縫製		裁断		
11	縫製		芯貼り		
12	縫製		パーツ縫い①		
13	縫製		パーツ縫い②		
14	縫製		組みたて①		
15	縫製		組みたて②		
16	縫製		組みたて・裏地つけ		
17	縫製		組みたて・裏地つけ		
18	縫製		完成提出		
19	作品講評		レポート		
20	まとめ		レポート提出・反省会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：企画書・デザイン画・作品 企画書の完成度20%、デザイン画のクオリティ20%、作品の完成度40%、 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			全ての課題を提出すること 期日を守ることを最優先し、お互いに責任を持って作品制 作に当たること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル企画Ⅱ				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.企画書制作 2.プレゼンテーション 3.デザイン描きだし				
学習目標 (到達目標)	3年間の集大成として各自作品1体をデザインし、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe creative cloud				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入		主旨説明・意識づけ		
2	企画書制作		コンセプトワーク		
3	企画書制作		ターゲット設定・リサーチ		
4	企画書制作		シーズンテーマ設定		
5	企画書制作		カラー・素材・ディテール設定		
6	プレゼンテーション		企画会議		
7	デザイン出し		ラフデザインチェック		
8	1stデザインチェック		ラフデザイン修正		
9	デザインチェック		デザイン画清書		
10	生地・グラフィック決定		グラフィックデザイン		
11	縫製		裁断		
12	縫製		芯貼り		
13	縫製		部分縫い		
14	縫製		パーツ縫い		
15	縫製		組みたて①		
16	縫製		組みたて②		
17	縫製		仕上げ・アイロン		
18	作品完成		提出		
19	作品講評		レポート		
20	まとめ		レポート提出・反省会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：企画書・デザイン画・作品 企画書の完成度20%、デザイン画のクオリティ20%、作品の完成度40%、 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			全ての課題を提出すること 期日を守ることを最優先し、お互いに責任を持って作品制 作に当たること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	パターンⅢ				
担当教員	金房 洋子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッション専攻科、 ファッションデザイン科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	パターンメイキング検定対策と高度な平面作図を学習する。				
学習目標 (到達目標)	パターンメイキング検定 2級合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パターンメイキング技術検定2級ガイドブック、ジャケット・ベスト、衿				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グレーディングの理論		2級ガイドブックP46～53		
2	グレーディング実習		2級ガイドブックP132～143		
3	グレーディング実習		2級ガイドブックP132～143		
4	縫い代付け理論		2級ガイドブックP38～41		
5	縫い代付け実習		2級ガイドブックP116～131		
6	縫い代付け実習		2級ガイドブックP116～131		
7	ジャケット実寸作図A		スーツ・ベストP39～41		
8	ジャケット実寸作図A		スーツ・ベストP39～41		
9	ジャケット実寸作図A		スーツ・ベストP39～41		
10	ジャケット実寸作図B		2級ガイドブックP84～91		
11	ジャケット実寸作図B		2級ガイドブックP84～91		
12	ジャケット作図B		2級ガイドブックP84～91		
13	ジャケット作図B		2級ガイドブックP84～91		
14	ジャケット作図C		2級ガイドブックP84～91		
15	ジャケット作図C		2級ガイドブックP84～91		
16	ベスト作図A		スーツ・ベストP162～163		
17	ベスト作図B		スーツ・ベストP164～165		
18	衿のバリエーション作図		衿P38～52		
19	衿のバリエーション作図		衿P56～80		
20	衿のバリエーション作図		衿P126～140		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるの で、作図方法が合っているだけではなく、綺麗な線、曲線、各ア イテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	パタンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	パターンⅢ				
担当教員	金房 洋子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッション専攻科、 ファッションデザイン科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	コート、袖、フードのバリエーション展開				
学習目標 (到達目標)	絵型から読み取り、平面作図を作図できるよう応用力を学ぶ				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	コート・ケープ、衿、袖				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コートの作図A		コート・ケープP25～31		
2	コートの作図A		コート・ケープP25～31		
3	コートの作図A		コート・ケープP25～31		
4	袖のバリエーション		コート・ケープP57～65		
5	袖のバリエーション		コート・ケープP57～65		
6	袖のバリエーション		コート・ケープP57～65		
7	フードの作図		コート・ケープP68～71		
8	フードの作図		コート・ケープP68～71		
9	フードのバリエーション		衿P208～211		
10	フードのバリエーション		衿P208～211		
11	コートの作図B		コート・ケープP32～38		
12	コートの作図C		コート・ケープP43～46		
13	コートの作図C		コート・ケープP43～46		
14	コートの作図C		コート・ケープP43～46		
15	マントの作図		コート・ケープP192～189		
16	マントの作図		コート・ケープP192～189		
17	袖のバリエーション		袖P84～95		
18	袖のバリエーション		袖P84～95		
19	袖のバリエーション		袖P124～127		
20	袖のバリエーション		袖P188～189		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるの で、作図方法が合っているだけではなく、綺麗な線、曲線、各ア イテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	パタンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている				

科目名	ドレーピングⅡ				
担当教員	金房 洋子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッション専攻科、 ファッションデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	絵型からパターンを読み取り、トワル製作からドラフティングまでを行い、より高度な技術を習得する。				
学習目標 (到達目標)	ジャケットA・Bのドレーピング、工業パターン、仕様書作成し、提出。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	立体裁断・基礎編、ジャケット・ベスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ボディラインチェック、生地準備		立体裁断P29～32		
2	ジャケットAドレーピング		立体裁断P200～208		
3	ジャケットAドレーピング		立体裁断P200～208		
4	ジャケットAドレーピング		立体裁断P200～208		
5	ジャケットAドレーピング		立体裁断P200～208		
6	ジャケットAドラフティング		立体裁断P200～208		
7	ジャケットAドラフティング		立体裁断P200～208		
8	ジャケットA縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
9	ジャケットA縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
10	ジャケットA縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
11	ジャケットA仕様書、指示書		プリント配布		
12	ジャケットBドレーピング		立体裁断P29～32		
13	ジャケットBドレーピング		立体裁断P29～32		
14	ジャケットBドレーピング		立体裁断P29～32		
15	ジャケットBドレーピング		立体裁断P29～32		
16	ジャケットBドラフティング		立体裁断P29～32		
17	ジャケットBドラフティング		立体裁断P29～32		
18	ジャケットB縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
19	ジャケットB縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
20	ジャケットB仕様書、指示書		プリント配布		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実習課題提出100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。			
実務経験教員の経歴	パターンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ドレーピングⅡ				
担当教員	金房 洋子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッション専攻科、 ファッションデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	絵型からパターンを読み取り、トワル製作からドラフティングまでを行い、より高度な技術を習得する。				
学習目標 (到達目標)	モードコピーを縫い上げ完成させ提出する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	立体裁断・基礎編、ジャケット・ベスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	モードコピー絵型選択		選択した絵型と教科書を照らし合わせ作図していく		
2	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
3	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
4	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
5	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
6	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
7	モードコピー立体裁断		補正		
8	モードコピー立体裁断		チェック、検討会		
9	ドラフティング		繋がりが良く引き直す		
10	ドラフティング		繋がりが良く引き直す		
11	ドラフティング		繋がりが良く引き直す		
12	縫い代付け		角処理に注意し、長さチェックも行う。		
13	縫い代付け		角処理に注意し、長さチェックも行う。		
14	縫い代付け		角処理に注意し、長さチェックも行う。		
15	縫製		縫製工程に無駄が無いように縫製してく。		
16	縫製		縫製工程に無駄が無いように縫製してく。		
17	縫製		縫製工程に無駄が無いように縫製してく。		
18	縫製		縫製工程に無駄が無いように縫製してく。		
19	縫製仕様書		プリント配布		
20	まとめ		トワル、パターン提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	パターンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	C A D III				
担当教員	関川 政春		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッション専攻科、 ファッションデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.東レACS(株)のCREA COMPO II Pattern Magic II 使用によるアパレルパターン作成。 2.ファッション企業パターンメーカーとしてのアパレルCAD知識、技術の習得。 3.課題作成テキストのプリントを配布し、実習によりパターンを作成し提出する。				
学習目標 (到達目標)	1.パターンデータ(原型など)の入力ができる。 2.CADパターン展開で、デザインパターンを作成できる。 3.CAD縫い代付けで、工業パターンが作成できる。 4.CADデータを保存・検索できる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教師作成のCAD実習課題テキストをプリント配布する。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	イントロダクション		講義 ファッション企業におけるアパレルCADの使われ方。CADIIIの学習方法など解説する。		
2	課題1.テーラードジャケット2枚袖作成		実習(1枚袖から2枚袖) 配布プリント 課題1のP1~P7		
3	課題2.テーラー襟作成1		実習(前身頃からラベル身頃と襟作成) 課題2の配布プリントP1~P4		
4	課題2.テーラー襟作成2		実習(前身頃からラベル身頃と襟作成) 課題2の配布プリントP5~P9		
5	課題3.肩パット、釦、フロントカット作成1		実習(身頃、外袖、前身頃から作成) 課題3の配布プリントP1~P5		
6	課題3.肩パット、釦、フロントカット作成1		実習(身頃、外袖、前身頃から作成) 課題3の配布プリントP1~P5		
7	課題3.肩パット、釦、フロントカット作成2		実習(身頃、外袖、前身頃から作成) 課題3の配布プリントP6~P11		
8	課題3.肩パット、釦、フロントカット作成2		実習(身頃、外袖、前身頃から作成) 課題3の配布プリントP6~P11		
9	課題4.3面テーラードジャケットの工業パターン作成1		実習(ジャケットデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P1~P7		
10	課題4.3面テーラードジャケットの工業パターン作成1		実習(ジャケットデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P1~P7		
11	課題4.3面テーラードジャケットの工業パターン作成2		実習(ジャケットデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P8~P14		
12	課題4.3面テーラードジャケットの工業パターン作成2		実習(ジャケットデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P8~P14		
13	課題4.3面テーラードジャケットの工業パターン作成3		実習(ジャケットデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P15~P21		
14	課題4.3面テーラードジャケットの工業パターン作成3		実習(ジャケットデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P15~P21		
15	課題4.3面テーラードジャケットの工業パターン作成4		実習(ジャケットデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P22~P27		
16	課題4.3面テーラードジャケットの工業パターン作成4		実習(ジャケットデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P22~P27		
17	課題5.パンツの工業パターン作成1		実習(パンツデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P1~P3		
18	課題5.パンツの工業パターン作成1		実習(パンツデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P1~P3		
19	課題5.パンツの工業パターン作成2		実習(パンツデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P4~P7		
20	課題5.パンツの工業パターン作成2		実習(パンツデザインパターンから縫い代付け作成) 課題4の配布P4~P7		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		アパレルCAD I、II で学んだことをしっかりと復習して実習に臨むこと。 CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。			
実務経験教員の経歴	パターンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間関わっていた。				

科目名						C A D III					
担当教員		関川 政春			実務授業の有無		○				
対象学科		ファッション専攻科、 ファッションデザイン科、 トータルファッション科		対象学年		3		開講時期		後期	
必修・選択		必修		単位数		2		時間数		40時間	
授業形態		対面授業のみ		対面授業と遠隔授業の併用				遠隔授業			
授業概要、目的、 授業の進め方		1.東レACS(株)のCREA COMPO II Pattern Magic II 使用によるアパレルパターン作成。 2.ファッション企業パターンメーカーとしてのアパレルCAD知識、技術の習得。 3.課題作成テキストのプリントを配布し、実習によりパターンを作成し提出する。									
学習目標 (到達目標)		1.パターンデータ(原型など)の入力ができる。 2.CADパターン展開で、デザインパターンを作成できる。 3.CAD縫い代付けで、工業パターンが作成できる。 4.CADデータを保存・検索できる。									
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		教師作成のCAD実習課題テキストをプリント配布する。									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	課題6.ハイウエストスカートパターン作成1					実習(スカート原型から作成) 配布プリント 課題6のP1~P7					
2	課題6.ハイウエストスカートパターン作成2					実習(スカート原型から作成) 配布プリント 課題6のP8~P14					
3	課題7.ハイウエストスカート工業パターン作成1					実習(スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP1~P7					
4	課題7.ハイウエストスカート工業パターン作成2					実習(スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP8~P14					
5	課題8.Pコートパターン作成1					実習(コート原型から作成) 配布プリント 課題8のP1~P4					
6	課題8.Pコートパターン作成2					実習(コート原型から作成) 配布プリント 課題8のP5~P9					
7	課題8.Pコートパターン作成2					実習(コート原型から作成) 配布プリント 課題8のP5~P9					
8	課題8.Pコートパターン作成3					実習(コート原型から作成) 配布プリント 課題8のP10~P13					
9	課題8.Pコートパターン作成3					実習(コート原型から作成) 配布プリント 課題8のP10~P13					
10	課題8.Pコートパターン作成4					実習(コート原型から作成) 配布プリント 課題8のP14~P17					
11	課題8.Pコートパターン作成4					実習(コート原型から作成) 配布プリント 課題8のP14~P17					
12	課題9.Pコートの工業パターン作成1					実習(コートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題9のP1~P4					
13	課題9.Pコートの工業パターン作成2					実習(コートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題9のP5~P8					
14	課題9.Pコートの工業パターン作成2					実習(コートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題9のP5~P8					
15	課題9.Pコートの工業パターン作成3					実習(コートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題9のP9~P11					
16	課題9.Pコートの工業パターン作成3					実習(コートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題9のP9~P11					
17	課題9.Pコートの工業パターン作成4					実習(コートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題9のP12~P14					
18	課題9.Pコートの工業パターン作成4					実習(コートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題9のP12~P14					
19	課題9.Pコートの工業パターン作成5					実習(コートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題9のP15~P17					
20	課題9.Pコートの工業パターン作成5					実習(コートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題9のP15~P17					
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						アパレルCAD I、IIで学んだことをしっかりと復習して実習に臨むこと。CAD操作メニュー知識が不足していると、実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。					
実務経験教員の経歴		パターンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間関わっていた。									

科目名	就職実務 II				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来る自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成 1		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成 2		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成 3		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策 1		GD対策授業面接練習		
5	GD対策 2		GD対策授業面接練習		
6	GD対策 3		GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策 1		グループ面接実践		
8	グループ面接対策 2		グループ面接実践		
9	グループ面接対策 3		グループ面接実践		
10	グループ面接対策 4		グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など		メールでの文章作成の基本。添え状テンプレ作成		
12	企業リストアップ 1		企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リストアップ 2		企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本		適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策		SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策 1		社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策 2		社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策 3		社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策 4		社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策 5		社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	就職実務 II				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来る自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.パターン・トワル制作 2.作品一体の縫製				
学習目標 (到達目標)	3年間の集大成として各自作品1体を縫製し、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	作図道具・縫製道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1stパターン		平面作図①		
2	1stパターン		平面作図①		
3	1stパターン		平面作図②		
4	トワル制作		作図写し		
5	トワル制作		トワル組みたて		
6	トワルチェック		トワルチェック・生地チェック		
7	2ndパターン		パターン修正		
8	2ndパターン		縫代付け・カット		
9	縫製		裁断・芯貼り		
10	縫製		部分縫い①		
11	縫製		部分縫い②		
12	縫製		組みたて①		
13	縫製		組みたて②		
14	仕上げ・修正		仕上げ・アイロン		
15	作品完成		提出		
16	フィッティング		モデル試着・修正		
17	作品修正		サイズなど修正		
18	最終フィッティング		最終フィッティング		
19	リハーサル		着せ付け・ウォーキングリハーサル		
20	ファッションショー		ファッションショー形式で発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：パターン/仕様書 パターン正確性40%、仕様書正確性40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			課題は全て提出すること 最後の作品として独自性と責任感をもって制作すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.パターン・トワル制作 2.作品一体の縫製				
学習目標 (到達目標)	3年間の集大成として各自作品1体を縫製し、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	作図道具・縫製道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1stパターン		平面作図①		
2	1stパターン		平面作図①		
3	1stパターン		平面作図②		
4	トワル制作		作図写し		
5	トワル制作		トワル組みたて		
6	トワルチェック		トワルチェック・生地チェック		
7	2ndパターン		パターン修正		
8	2ndパターン		縫代付け・カット		
9	縫製		裁断・芯貼り		
10	縫製		部分縫い①		
11	縫製		部分縫い②		
12	縫製		組みたて①		
13	縫製		組みたて②		
14	仕上げ・修正		仕上げ・アイロン		
15	作品完成		提出		
16	フィッティング		モデル試着・修正		
17	作品修正		サイズなど修正		
18	最終フィッティング		最終フィッティング		
19	リハーサル		着せ付け・ウォーキングリハーサル		
20	ファッションショー		ファッションショー形式で発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：パターン/仕様書 パターン正確性40%、仕様書正確性40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			課題は全て提出すること 最後の作品として独自性と責任感をもって制作すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				